

学内表彰

総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

授賞年月日	氏名	職名等	授賞理由
平成29年 3月24日	遠藤 哲郎	国際集積エレクトロニクス研究開発センター長 工学研究科教授	平成28年8月26日に「高性能不揮発性メモリとその評価・製造装置の開発、及び国際産学連携集積エレクトロニクス研究開発拠点の構築」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例を納めた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞した。
平成26年 3月26日	山本 雅之	医学系研究科教授 東北メディカル・メガバンク機構長	平成26年3月12日に「生体の環境ストレス応答の分子機構の解明」を受賞題目として、「平成26年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年 3月27日	佐藤 英明	農学研究科教授	平成25年3月12日に「哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年 3月27日	中沢 正隆	電気通信研究所所長・教授	平成25年3月12日に「エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度化に関する貢献」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成21年 9月25日	中沢 正隆	電気通信研究所教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器(EDFA)の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成21年 3月25日	川人 貞史	法学研究科教授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年 3月27日	加藤 康司	工学研究科教授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年 9月25日	井上 明久	金属材料研究所所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料「金属ガラス」を用いた産業用小型・高性能デバイス」の開発を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年 7月31日	小柳 光正	工学研究科教授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年 3月24日	鈴木 厚人	副学長・理学研究科教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小谷 元子	理学研究科教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を取った女性科学者に贈られる「第25回強橋賞」を受賞したため。
平成17年 6月29日	大野 英男	電気通信研究所教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

平成28年度

氏名・団体名	職名等	授賞理由
スプリング・ライオン	高度教養教育・学生支援機構 講師	プロジェクト型外国語学習という先進的な外国語教授法に基づき、日本人学生と留学生が共修環境でのグループワークを通じ学生の自主性を育成しながら、speaking、reading、writing、listeningの英語スキルを伸ばす授業を実施し、多くの学生の英語能力を向上させるとともに学生からも高い評価を得ている。 また、ノースカロライナ大学シャーロット校と協力し、新たな教育プログラム「スカイプ・パートナー・プログラム」を開発するなど、本学の英語教育の発展に大きく寄与している。
石井 誠一	医学系研究科 准教授	医学科において、教育のニーズアセスメント、学習目標策定、カリキュラム開発、授業評価と学生の到達度評価、フィードバックシステム開発、並びにFD等を広く主導し、教育におけるPDCAサイクルを長きにわたり推進してきた。 また、文部科学省大学改革推進事業「世界で競い合うMD研究者育成プログラム」を起案し、採択後は事業運営を統轄するなど、教員と学生が相互に協調して教育環境を改善する機運を醸成した。
長坂 徹也 ウェベック・エリザベス	工学研究科 教授 工学研究科 特任准教授	工学部1年次学生を対象とした創造工学研修において、北京科技大学と海外共同研修を企画立案し、英語プレゼンテーション能力、海外機関の訪問、海外からの訪問者受入、諸アレンジメント等を経験・学修できる学術的国際交流導入教育プログラムを10年以上にわたって指導し、グローバル意識の高い学生を多数輩出してきた。本研修に参加した本学学生は延べ226名、北京科技大学生は延べ198名に上っており、国際交流の導入教育として学生のグローバルセンスの向上に優れた成果を挙げている。
農学研究科	東北復興農学センター	東北農業の復興を先導し、日本農業の新生をけん引する人材育成を目指すべく、本学内外の学部学生及び大学院生並びに社会人を対象とし、ディスカッションを重視した講義、被災地見学と役員職員や住民等との意見交換、農業復興に関連したフィールド実習等を実施し、3年間で238名を「マイスター」として資格認定した。これにより、マイスター自らが東北地域の復興・地方創成に向けて活動を開始する等、社会人や農産復興の観点においても高い効果を上げている。

総長賞受賞者 平成28年度

本学の教育目標にかなない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士

齋藤 万里名	文学部	小嶋 あさか	医学部
貴嶋 未弥	文学部	工藤 葉子	歯学部
尾形 秀	教育学部	若原 裕子	薬学部
市川 逸孝	法学部	佐藤 芳樹	工学部
平川 英太	法学部	中村 光暹	工学部
岡崎 智洋	経済学部	清野 舜	工学部
上田 新	経済学部	平松 諒也	工学部
佐藤 悠平	経済学部	伊藤 康太	工学部
吉澤 研介	理学部	及川 大樹	工学部
伊東 直洋	理学部	川森 弘晶	工学部
鈴木 和磨	理学部	菊池 佳奈	工学部
坂本 量哉	医学部	半谷 明寛	農学部
武田 健一郎	医学部	國井 宏太	農学部

修士

陳 偉熙	工学研究科
岩 間 崇之	工学研究科
山岸 稜	工学研究科
後藤 天志郎	工学研究科
伊東 桂司	情報科学研究科
武田 航	医工学研究科
今田 貴也	法学研究科
博士	
毛塚 和宏	文学研究科
神林 寿幸	教育学研究科
田村 翔平	経済学研究科
世永 公輝	理学研究科
齋藤 雅典	理学研究科

高 梨 司	理学研究科
今野 明 咲香	理学研究科
加藤 浩 貴	医学系研究科
松永 雄太	医学系研究科
松山 祐輔	歯学研究科
篠田 康晴	薬学研究科
察 引 娣	工学研究科
菊地 亮太	工学研究科
田中 秀明	工学研究科
土屋 成輝	農学研究科
Ngo Duc Thuan	情報科学研究科
Paulina Sandra Mrozowska	生命科学研究科
菅野 佑介	環境科学研究科
一ノ瀬 智子	教育情報学教育部

総長優秀学生賞受賞者 平成28年度

日本学術振興会育志賞受賞者を表彰するものです。

小川由希子	工学研究科
-------	-------

総長研究支援技術賞受賞者

優れた研究支援を行い研究成果の創出に顕著な貢献があった技術職員を表彰するものです。

平成28年度

氏名・団体名	職名等	授賞題目	授賞理由
理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター 観測技術部		東北地方太平洋沖地震後の地殻活動に関する観測研究に対する支援	2011年東北地方太平洋沖地震発生後、困難な状況の中、観測点の迅速な復旧や臨時観測を行い、観測機器やプログラムの開発を行った。これらは本震発生後の地震、地殻変動、火山活動を的確に把握するうえで重要であり、この地震の発生に至る過程や周囲にもたらした影響を解明し減災に役立つ多くの研究成果に貢献した。
川村 一善	薬学研究科 再雇用職員	有機マススペクトロメトリーによる分子薬科学研究支援	特殊な測定技術・経験を必要とする質量分析装置の専任担当者として、依頼サンプルの測定、機器の管理・メンテナンスを行うとともに、新規有機化合物の分子構造決定に資する分析結果の提供を通して、薬学部・薬学研究科における過去42年間に発表されたほぼ全ての有機化学論文・学会発表に顕著な貢献を果たした。

学生会長賞受賞者 平成28年度

入部から卒部までの間の成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

佐々木 颯清	映画部	本間 実季	オリエンテーリング部	佐々木 春菜	競技舞踏部
鈴木 雄大	吹奏楽部	阿部 啓一郎	競技舞踏部	鈴木 源汰	相撲部
善永 徹	体操部				

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

授賞年度	氏名	部局	授賞年度	氏名	部局	授賞年度	氏名	部局	
平成28年	せい 盛 福 剛	経済学研究科	平成26年	ち 連 皎 潔	文学研究科	平成24年	ほ 浦 正 寧	経済学研究科	
	り 李 静	理学研究科		う 干 磊	医学系研究科		けい 桂 沛 君	医学系研究科	
	りく 陸 雪 琴	工学研究科		りゅう 劉 恢 弘	工学研究科		ちん 陳 凱 幼	工学研究科	
	り 李 関 喬	環境科学研究科		りゅう 劉 家 佳	生命科学研究科		りゅう 劉 家 佳	情報科学研究科	
平成27年	う 于 凱 鴻	医工学研究科	うー 呉 曉 勇	環境科学研究科	か 果 崇 申	環境科学研究科	平成23年	しゅ 朱 華 宇	理学研究科
	り 李 月 珊	文学研究科	ほん 彭 寧 寧	理学研究科	は 浩 白 勤	医学系研究科			
	しゆえ 薛 嬌	理学研究科	そん 孫 詩 嵐	医学系研究科	ちやう 趙 曉 麗	工学研究科			
	くお 郭 威	工学研究科	しゅ 許 嵐 斌	工学研究科	うん 溫 磊	生命科学研究科			
	ほう 王 飛 騰	情報科学研究科							
	ふん 樊 飛 涌	環境科学研究科							

澤柳記念賞(澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞)受賞者

「澤柳記念賞」は、男女共同参画社会をめざす活発な取り組みの一助となるよう、アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍し、多大な貢献をなした方々を選考し顕彰する制度です。

氏名・団体名	職名等	受賞部門	受賞課題名
平成28年 名古屋大学男女共同参画室	本賞	賞	大学における男女共同参画推進事業のモデル化による国際的拠点化
平成27年 大坪 久子	日本大学薬学部・薬学研究所 上席研究員	本賞	日本の理工系女性研究者支援を牽引した先導的活動
新大 Wits (しんだいういつつ)	奨励賞	賞	"新大 Wits" による出前授業活動から生まれた男女共同参画多世代キャリア教育
平成26年 辻村みよ子	明治大学法科大学院 教授	本賞	日本の男女共同参画社会の推進を牽引する先導的活動について
S A 輝友会 (エスエーきゆうかい)	奨励賞	賞	東北大学サイエンス・エンジェル (SA) 修了生による男女共同参画推進の取組み

沢柳賞(東北大学男女共同参画奨励賞)受賞者

「沢柳賞」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

授賞年度	氏名・団体名	職名等	受賞部門
平成24年	アロナ	経済学研究科「留学生・研究者の産・育児を支援する地域・大学協働プロジェクトチーム」代表	活動部門
平成23年	朝倉 京子	医学系研究科教授	研究部門
平成22年	茂木 洋平	法学研究科博士課程後期	研究部門
	阿部 比佐久 久利 美和 村上 祐子	理学研究科再雇用職員 理学研究科助教 理学研究科准教授	プロジェクト部門(特別賞)
平成21年	下 夷 美 幸	文学研究科准教授	研究部門
	青葉理学振興会		活動部門
	女性と労働研究会		プロジェクト部門
平成20年	山崎 都	病院 医員	活動部門(特別賞)
	東北大学川内けやき保育園保護者会		活動部門
	トルムンフオドトヤ	環境科学研究科博士課程学生	プロジェクト部門(特別賞)
	齊藤 綾美	教育学研究科特別研究員	研究部門
平成19年	阿部 未央	法学研究科博士課程学生	研究部門(特別賞)
	工学研究科 機械・知能系男女共同参画推進委員会WGおよび女子学生交流会学生会スタッフ		活動部門
	尾崎 博美	教育学研究科博士課程学生	プロジェクト部門
	八木 美保子	教育学研究科博士課程学生	
	水原 克敏	教育学研究科教授	
	生田 久美子	教育学研究科教授	
ヤマモトシアエミコ	文学研究科専門研究員	プロジェクト部門(特別賞)	
平成18年	吉田 浩	経済学研究科助教	研究部門
	還山 智子	理学研究科教育研究支援者	活動部門
	鈴木 美智子	理学研究科教育研究支援者	
	玉江 京子	理学研究科助手	
	海老原 孝枝	病院「子育てに関する女性医師の会」代表	活動部門
橋本 鋳市	教育学研究科助教	プロジェクト部門	